

2019年11月11日全学環境安全管理室等会議・事故災害報告(要約)

・休業4日以上

- 19141I** 学部2年(男性:21歳);全学体験ゼミナールの野外活動中、林道でのナイトウォークの際に、林道から2.7m下の川に転落、上腕部骨折・腰部打撲のため入院3週間、全治2-3か月(休業3週)。
- 19156I** 技術補佐員(男性:32歳);除草作業中、抜き取り済み雑草を束ね上げようとして腰痛を発症。休業4日
- 19167I** 特任教員(女性:35歳);海外出張より帰国後 Dengue 熱を発症した。休業4日

・休業4日未満

- 19170M** M2 院生(男性:25歳);テニス講座のウォーミングアップ中にぎっくり腰になった。休業2日。

・不休業事故・災害

- 19128F** 医療・看護系職員(女性:27歳);可動式天井吊りモニターに頭をぶつけた。
- 19138F** 研究員等(男性:31歳);振り向きざま、廊下壁面設置のブレーカーボックスに左顔面をぶつけ、左上顎骨を骨折した。
- 19139F** M2 院生(男性:24歳);階段脇に設置された柵に躓いて転倒し、左ひざに裂傷を負った。
- 19144F** M2 院生(女性:24歳);マウスに注射する際、マウスが暴れ、誤って左手人差し指に注射針を刺した。
- 19146F** 教授(男性:47歳);構内を自転車で移動中、濡れた路面で転倒し、左大腿と左肩に打撲を負った。
- 19155F** 准教授(男性:45歳);温泉ガス採取の際、泥の踏み抜きにより右足が温泉に浸かり熱傷を負った。
- 19157F** 学部1年(男性:18歳);竹割器のハンドル部とコンクリート路盤に左手薬指を挟み打撲を負った。
- 19159F** 学術支援職員(女性:46歳);マウスを保定する際に左手人差し指を噛まれた。
- 19161F** 教授(男性:62歳);自転車で移動中、バランスを崩して転倒し、膝に擦り傷を負った。
- 19163F** 学部3年(女性:21歳);学生実験室で、水酸化ナトリウムが残っていたトラップフラスコをダイアフラムポンプに接続して起動したところ、水酸化ナトリウムがポンプから霧状になって吹き出し、飛沫が顔にかかった。直ちに実験室の緊急シャワーで30分流水洗浄した。
- 19165F** 研究員等(男性:36歳);停電復帰のため屋内待機中、部屋を移動しようとした際に暗闇で扉が閉まりかけているのに気づかず頭部を強打した。
- 19166F** M1 院生(男性:23歳);飼育水槽の洗浄の際に、加熱したヒーターを素手で持ち火傷を負った。
- 19168F** M2 院生(男性:24歳);廊下を歩行中、斜めに張り出した梁に頭部を強打し裂傷を負った。
- 19169F** 学術支援職員(女性:38歳);講演会準備中、ステージから転落し、右足首・甲および尾骨を打撲。
- 19172F** 学術支援職員(女性:52歳);椅子に足指をぶつけ、左足指の第二趾を骨折した。
- 19173F** 助教(男性:51歳);顕微鏡点検中、装置から突き出した金属棒に頭頂部を打ち付け切創を負った。
- 19174F** 学部2年(男性:19歳);旋盤作業中、部品の切削面に手をぶつけ指に切り傷を負った。
- 19175F** 学部2年(男性:19歳);コンパネを別の活動場所へ運搬する作業で、台車にコンパネ4枚程を乗せようとしたら、台車ごと倒れてコンパネに挟まれ足に軽い怪我をした。

・通勤災害

- 19154J** 技術・教室系職員(男性:56歳);電車走行中の揺れにより、後方の乗客の肘が当たり、肩甲骨に打撲を負った。
- 19158J** 医療・看護系職員(女性:25歳);自転車で帰宅中、車道に急に飛び出した歩行者を避けようとして段差に躓き、右半身打撲等を負った。
- 19171J** 医療・看護系職員(女性:37歳);徒歩通勤中、建物の手前に置かれた足台にひっかかり転倒、擦過傷等を負った。

・ヒヤリハット。人的被害と物的被害なし

- 19160H** NMR 室で液体ヘリウム容器の断熱のための真空部にリークが発生し、ヘリウム蒸発量の急激な上昇が起こった。

・人的被害なし、設備災害でない機器・施設損傷あり

19162Nd 運搬車による資材運搬中、左前面のウインカーを工事用支柱に接触させ破損させた。

19179Nd [速報]火災報知器が鳴動。現場に駆けつけ、実験室の乾燥機から 30cm ほどの炎が出ていることを確認、消火器を用いて鎮火した。

・人的被害なし、設備災害でない有害物（臭）流出あり

19126Ni 窒素供給管レギュレーターの樹脂製ドレインカップの亀裂から窒素が無人の研究室内に漏洩した。

19153Ni 実験室にて一酸化炭素検知器の警報が発報。洗浄に使用したエタノールを検知したと思われる

19164Ni 実験排水系に低 pH 排水の流入が感知された。

・その他

19133S 業務協力者(男性:39 歳); 試薬瓶を包装していたビニール袋内に液体が漏えいしていたことに気付かずに袋を傾けてしまい、実験系不明廃棄液体がズボンに付着、右太腿に薬傷を負った。

19145S 業務協力者(女性:37 歳); 洗浄機の金属製ベルトコンベアの格子部に指が入り込み、引き抜いた際に右手中指に裂傷を負った。

以上 教養学部等環境安全管理室